

事業所名		マーブルハレ津久野				支援プログラム（参考様式）		作成日	2025 年	2 月	25 日
法人（事業所）理念		・大きな木の下に守られるような安心できる場所・心の絆「ねっこ」を育てる（愛着形成）・「ね」は魔法の言葉(共感)									
支援方針		通所対象 小学生 ・一人ひとりの個性に合わせた支援 ・集団での遊びや日常生活や公共の場でのルールを学ぶこと等を通して生活に必要な力が身につくよう支援									
営業時間		月～土・祝	10 時	0 分から	17 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし		
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	・身支度、身だしなみ、身の周りの整理整頓等の生活向上を目指す。 ・トイレトレーニング ・月1回のクッキングを通して苦手な食べ物に対しての気持ちの軽減や食事の大切さを知る。（食育）									
	運動・感覚	・リズムあそびやリトミックを通して、リズム感・発想力・表現力など豊かな感性等の向上。 ・粗大運動（サーキットあそび、鬼ごっこ、中当て、三輪車等）、微細運動（スライム、粘土、シール貼り、ボタンの練習、箸の練習等）の感覚統合向上。 ・手作り教具も取り入れてのトレーニング									
	認知・行動	・活動内容移行時、メリハリをつけるためチャイム音などで知らせ、絵カード等も用いながらスムーズに行動移行する									
	言語 コミュニケーション	・日々の集団活動を通して、相手の気持ちを理解する力や言葉で表出する力を身につける ・言語聴覚士よりアドバイスを受けた方法や遊びを日々の支援へ取り入れ言語の習得やコミュニケーション力、自発的な発声を促す									
	人間関係 社会性	・日々の活動を通して勝ち負けや緩急のある遊びや共同制作等の遊びの中から人間関係や社会性を身につける									
家族支援		・日常生活において子どもの意志を大切にしながら個族が安心して子育てが楽しめるようにする ・連絡ノート、LINE、電話や送迎時による相談支援。必要に応じて面談による相談支援も行う				移行支援	・各園と支援計画書を共有、送迎時に日々の様子を確認、必要に応じて訪問するなど連携を取る ・要望に合わせて引き継ぎの会議に参加する				
地域支援・地域連携		・小学校、相談支援事業所、区役所、併用事業所等その他、関係機関で得た情報を共有し、日常生活で活用する ・関係機関との会議に参加し、支援の方向性を揃える				職員の質の向上	・日々の活動の中で情報を共有し、支援について話し合う ・支援に関する研修等に参加し、知り得た情報を共有				
主な行事等		・年間を通し、園の主な行事に準ずる ※散歩、月1回 季節の制作（こいのぼり、七夕、ハロウィン、節分など）、水あそび、シャボン玉あそび、月1回 クッキング、月1回 避難訓練									